

地区社協だより

第46号

発行日 令和6年7月15日
発行 西諫早小学校区
社会福祉協議会
発行責任者 林 田 弘 喜
(電) 0957-26-6122

思い合い、支え合う
子供に

諫早市立西諫早小学校長

原田 秀紀

西諫早小に4月からお世話に

就任のご挨拶



真津山出張所(西諫早公民館)
所長(館長) 中尾 智大

西諫早小学校区社会福祉協
議会の皆様、はじめまして。

この度真津山出張所長兼西諫早公民館長を拝命
致しました中尾と申します。

出張所長としては、行政サービスの向上に努
めるとともに、地域住民の皆様の生活に寄り
添った活動を心がけてまいります。また、公民
館長としては、地域コミュニティの核となり、
住民主体の様々な活動を支援してまいる所存で
す。

これまでも窓口業務を中心に従事してまいり
ました。その経験を活かし、出張所と公民館の
両輪として、地域に密着した取り組みを展開し
ていく決意でございます。

新米の所長・館長として、至らぬ点多々あ
ると存じますが、皆様のご指導を賜りながら、
着実に職務を全うしてまいりたいと考えており
ます。地域の皆様におかれましては、これまで
以上のご理解とご協力を賜りますよう、心から
お願い申し上げます。

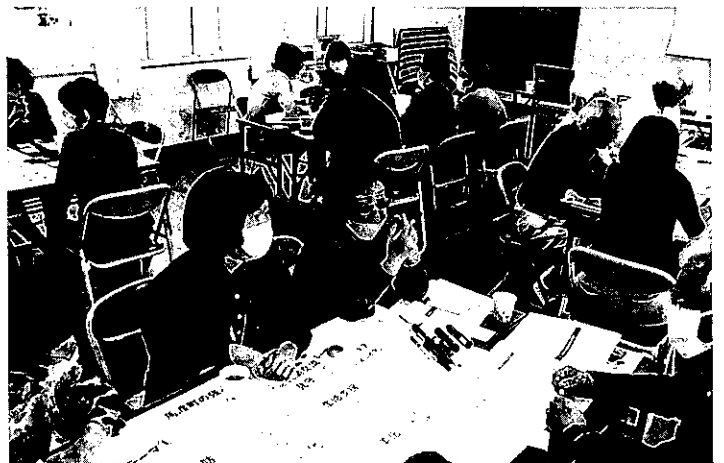


の宝である子供たちの安全安心な生活のためにご支援いた
だき感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年、人
との交流が制限されたことで教育現場での情報通信機器の
活用が拍車がかかり、学校教育が大きく変革しました。自
宅にいても授業を受けることができたり、発表で使用する
デジタル資料(プレゼン)を、タブレットを持ち帰ること
により、いつでもどこでも作成することができたり、仲間
と共有することも容易になりました。一昔前は机の上に模
造紙を広げて仲間とどんな内容にするか話し合っって原稿を
手書きしたり、撮影した画像を印刷して糊で貼ったりして
いたものです。どんなに通信機器が発達しても人と人が
互いに語り合い、つながり合い、支え合いながら生活して
いくことは地域コミュニティにとって大切な営みです。そ
の大切さを子供たちに伝えようと西諫早小学校区の皆様が
地域をあげて取り組み続けていらっしやることに感謝いた
します。

結びに、子供たちの未来が人とかかわりを通して益々
豊かになるように、大人の一人として協力していきたいと
思います。よろしくお願いたします。

馬渡町 語らん場(かたらんば) R6.4.22



第49回運動会

令和6年5月26日(日) 8:40 開会
12:05 閉会式終了予定
※12:05~12:30 会場撤収・後片付け
【雨天時：5月28日(火)】



1の2 くらだ ゆうのすけ
かけっこで、2ばんだったからく
やしかったけど、さいごまでいっ
しょうけんめいにはしりました。2
ねんせいでは、1ばんになりたいで
す。
たまいれで、31こいれたのがうれ
しかったです。あかぐみにかって、
おおきなこえで、ばんざいをしまし
た。たのしかったです。

1の1 しおた こうすけ
たのしいうんどうかい
かけっこで1いになれなかったけ
ど、さいごまでがんばってはした
よ。
だんすもじょうずにおどれたよ。
たまいれもたくさんいれたよ。

みんなが、がんばったからあかぐ
みがかったよ。たのしかったよ。

がんばったうんどうかい

1の1 たけがわ こは
かけっこは、ころばないでさいご
まではしたよ。
たまいれも、つよくなげたら、か
ごにいっぱいはいたよ。
いえにかえったら、おかあさん
が、いっぱいほめてくれたよ。うれ
しかったよ。

運動会でがんばったこと

6の1 葛島 由希音

私が運動会でがんばったことは二
つあります。一つ目はバトンの受け
わたしです。私は、運動会の練習で
なんどかバトンの受けわたしてバト
ンをうまく受けとれなかったりしま
した。なので友達とたくさん練習を
しました。その結果、本番では受け
わたしもうまくいきました。二つ目
はソーラン節での声です。私は最
初、ソーラン節であまり声をだせて
いませんでした。ある時ソーラン節
の練習の時に、先生から自分達のお
どりは0点ということを言われまし
た。私はそれがとてもくやしと思
い、家に帰って自分には何がたりな
いか考えた時、まっさきに思いつい
たのが声をだす、ということでした。
私は、先生から百点がもらえる
よう、おどってる時に大きな声をが
んばってだしました。そして運動会
前での練習ではかなり良い評価がも

らえました。本番では他の先生方
から『良かったよ』などの声をかけて
もらい、『がんばってよかったな』
と思いました。

運動会でがんばったこと

6の1 宮崎 理月

私が運動会でがんばったことは2
つあります。
1つ目は、かけっこです。かけっ
こでいっしょになった人が、選抜選
手で、最初は『1位はむりだなあ。』
と思っていました。練習では、私が
少しの差でかちました。でも、本番
には負けるかもしれないと思いま
した。なので自分で少しだけスタート
の練習をしました。そしたら、少し
だけ、速くなった気がしました。
そして、本番、スタートをいしき
してはしりました。そしたら、練習
の時より差が広がり、1位になりま
した。『よっしゃ!!』がぞく
にもほめられてうれしかったです。
2つ目はリレーです。最初はバト
ンパスがう
まくいが
ず、いつも
タイムロス
していまし
た。でも、
朝はやくき
て、朝練を
がんばりま
した。そし
たら、ス
ムーズにバ
トンパスが



令和6年度 西諫早中学校体育大会

最高の思い出

3年 米満 楓馬

僕はこの体育大会で成長したことが二つあります。

一つ目は仕事をやる際に責任をもち最後までやり遂げることです。僕は、先生の勧めで実行委員長になりました。主な仕事内容は、当日のあいさつと準備体操でした。初めは多人数の前に立つのは嫌だと思っていたのですが自分で決めたのなら役割を果たさないといけないと、責任感をもつようになりました。学校や家での練習で本番では大きな声でありさつと準備体操ができ、大きな自信ができました。この仕事は自分に必要だったと感じました。

二つ目は競技中です。これは3年生全員にあてはまることです。競技はもちろんですが応援も大きく成長しました。1年生の頃は誰もが競技中に立つて応援したり他の学年にはあまり応援をしていませんでした。ですが2年生の頃、3年生の姿に憧れて3年生では大きく変わりました。リレーや学年種目、個人種目で一人ひとりが全力を出し一致団結していてマナーを守った応援でとても盛り上がりました。また他学年の競技中はそのクラスにも精一杯応援しとても楽しんでいました。

これからは、今回のように行事などを全力で楽しみ、受験生として勉強も諦めず頑張っていけます。

一致団結した体育大会

3年 松尾 ののか

中学校最後の体育大会は雲一つない青空のもと行われました。今年の体育大会は、体育委員として、するべき事も多くありましたが、多くのことを学びました。

私が学んだことの中で一番大切だと思ったことは団結することです。リレーでは、走順やテイクオーバーゾーンを全員で話し合ってから決め、走ることが苦手な人をみんなでサポートしました。学年種目の台風の目では、どうすると速くなるのか考えたり声出しをしたりして、息を合わせることができました。今回の体育大会を通して前よりもクラスの仲が深まり団結力が高まったと思います。

今回の体育大会で得た経験を活かし残りの中学校生活を今まで以上に良いものにしていきたいです。そして、これからはもっとメリハリのある中学3年生として過ごし、他学年の良いお手本となるようにしたいです。

できるようになりました。昼休みも練習を少ししたら、かんぱきになりました。本番でも、バトンパスがうまくいき、みんごと1位になれました!! 小学校最後の運動会最高の思い出が作れてよかったです。

運動会で成長したこと

6の2 磯部 咲衣

私が運動会で成長したことは、二つあります。

一つ目は、あきらめずに取り組むことです。私たちのチームは、いつも赤組にリレーで負けてしまっていました。でも、朝の時間など体育ではない時にもリレーの練習をしてあきらめずに取り組んだことであきらめない心が大切だとわかり、成長できました。

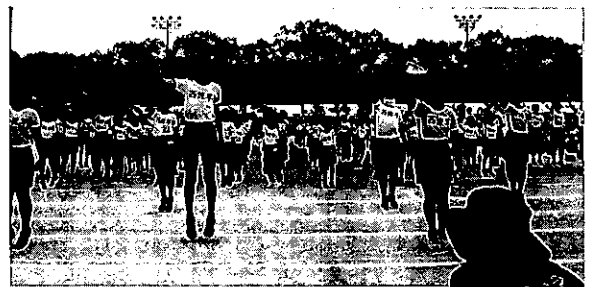
二つ目は、支えあうということだと思います。今までは支えてもらうことが多く、支えてあげることが少なかったです。でも、リレーなどのチームで行う競技を通して支えあうことの大切さを知ることができました。

運動会をして、知れた自分の成長を小体連などの次の行事でも、中学生になってもたくさん活かしていきたいです。また、運動会を通して、課題を見つけていくことができたので、次につなげていきたいです。

運動会でがんばったこと

6の2 堀 晴夏

私は、運動会でがんばったことが三つあります。



一つ目は、短きよ走りです。私は、短きよ走りが好きです。でも一緒に走った人は、速い人がなかに上位になりました。家の前でもたくさん練習しました。本番は5位でくやしかったけど、練習よりも速く走ることができてうれしかったです。

二つ目は、リレーです。リレーは毎朝練習しました。どうすれば、バトンパスをうまくできるかチームで話し合いタイムをちぎめることができました。本番では3位だったけど練習の成果をださることができました。

三つ目は、南中ソーランです。南中ソーランはとてもはく力のあるおどりでも練習が大変でしたが、みんなでたくさん練習をしたり、お姉ちゃんにおしえてもらったりして本番では、自信をもっておどることができました。地域の人たちからたくさんほめてもらい、練習することはとても大切なんだなあと思いました。この経験をいかしてこれからあきらめないでがんばろうと思います。



北部地域包括支援センターより

生活支援コーディネーター

田浦 英子

現在、西小校区に住む3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上です。団塊の世代の方が後期高齢者になる2025年を間近に控え、今後さらに、介護ニーズの増大や介護人材不足が予想されます。「介護予防と生活支援の語らん場」では、住民や医療介護の専門職と一緒に、地域に合った住民同士の助け合いや介護予防の取り組みについて話し合っています。第15回語らん場では、「いきいきサロンの会館まで歩いて行けない高齢者のためにも歩いて行ける距離に集える場がある」と良い「老人会三ツ才体操に子ども達も参加しやすい工夫ができれば良い」「一人で続かない活動もリーダーや仲間がいると続けられる」「サロンのときに見守りしているが延長線上で生活支援も考えたい」等の声があがりました。住み慣れた自宅を最期まで過ごせる地域を目指して、語らん場の開催など続けていきます。興味のある方はぜひご参加ください。

認知症地域支援推進員

酒井 晴美

現在日本では、高齢化の進展とともに、認知症の方も増加しており2025年には、65歳以上の高齢者の方5人に1人が認知症になるとも予測されています。

適度な運動と食生活の改善、生活習慣病を防ぐこと、社会とのつながりを持つことは、認知症の予防には有用と言われています。

認知症があってもなくても、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるよう、支えあえる地域づくりをすることは、とても大切です。そのためには、認知症という病気に対する周囲の理解と見守りは欠かせません。実際に、日々の散歩の際、ご近所の方へ声掛けや、挨拶をされている方もおられます。特別な事でなくとも、日々の声掛けがお互いの見守りに繋がると感じます。認知症について関心を持ってもらい、お互いに支え合える地域づくりを繋がるよう、活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

つながりを大切に

西諫早小学校区社会福祉協議会

事務局長 大島 健一

こんにちは、今年度4月から西諫早小学校区社会福祉協議会事務局長を務めさせて頂いております大島健一と申します。また事務局長の業務に慣れていませんが、所属する地区社協のみならず、皆さんがどうしたら気持ちよくスムーズに業務に取り組み、喜んで頂けるかを考えてコミュニケーションを取りながら業務をおこない、また諫早市社会福祉協議会と連携を密にして地区内関係団体の方々とコミュニケーションをしっかりと取り協力を頂き令和6年度地区社協事業計画(ひとり暮らし高齢者の集い・いきいきサロン・世代間交流事業等)各イベントの成功の為に一丸となつて行動し、約2,900世帯の地域住民の方々がお互いに出会う機会を増やして、お互いが少しずつでも顔なじみになりお互いを気づかい、つながりあうなど地域福祉に関する連帯感を養い健康で笑顔のたえない明るい生活ができる西諫早小学校区福祉社会の実現の為に地区社協のみならずと共に力を合わせて努めて参りたいと思っております。つながりを大切に思い業務に努めさせて頂きますので今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

新人広報部長のご挨拶

林田 弘喜

にわかに広報部長になりました。3年ぶりの中尾町自治会長に就いての重責で、いささか不安な心境でございますが、そこは会員のみなさまの多彩な投稿とベテラン編集理事の皆さんを頼りに何とか乗り切りたいと腹を決めております。

今後の西小校区地区社協活動の盛り上がりにも少しでも貢献できる広報紙でありたいと願っております。興味深い記事をおとどけさせていただきます。どうぞ、隅から隅まですすすいとお読みくださいますようお願い申し上げます。敬白

編集後記

小学校、中学校の運動会(体育大会)は暑い中にもかかわらず、児童・生徒さんたちの元気な姿、創意工夫を凝らした取り組みに感動しました。

これからは暑さも本番になり、熱中症が心配されるころですね。

外出時の帽子の着用、日傘の使用やこまめな給水、エアコン・扇風機の適切な使用、寝不足をなくして元気にこの夏を乗り越えましょう!!

広報部